

熊本県立高校One Teamプロジェクト事業 北高 & 菊農 Co-Creation ～普通科系高校と専門学科系高校との共創～

チーム参加校 ◎熊本北高校、菊池農業高校

事業の経緯と目的

これまでの両校の課題研究を通じた交流を通して、同じテーマの研究でもアプローチする視点が複数あることに、生徒達だけでなく、職員も気づくことができている。

普通科系高校と専門学科系高校のそれぞれ

の学びの中での見方・考え方を知ることは、探究のプロセスを推し進めながら、研究を深化させる点で互いに参考になることが期待できる。また、互いの強みと弱みを知りつつ共同研究の可能性を探り、共創していく。

合同学習会を実施し、生徒及び教職員が異なる学科系高校における研究への取り組みを学び合うことで、互いの強みを生かしながら教育活動の深化を図る。また、教職員同士のスキルアップと高校間連携を図る一助とする。

昨年度の取組 竹林伐採体験・合同学習会

菊池農業高校のSDGs7°プロジェクト班と本校自然科学部員による菊池公園の里山の侵入林伐採を実施した。

データサイエンス(DS)の観点を利用して、地域課題解決を行えないかを実地研修を通して探ることも目的として実施した。



図1 竹林伐採及び合同勉強会の様子

今年度の活動予定

今年度は、スマート農業の可能性を探る合同勉強会を菊池農業高校SDGs7°プロジェクト班と熊本北高校自然科学部データサイエンス班で実施予定である。

熊本北高校の学校設定科目「データサイエンス」で学習してきた環境センサーや、データサイエンス班が開発しているVRの有効活用について考えていきたい。



図2 TKUの「ハイスクール天国」の取材を受ける熊本北高校自然科学部DS班の生徒